



ゆりあげちく

閑上地区かわまちづくり

【題名】名取川とともに復興し、新たな賑わいを生み出したまち 閑上

【河川】名取川水系・名取川（一級河川）



かわまちづくりの特長

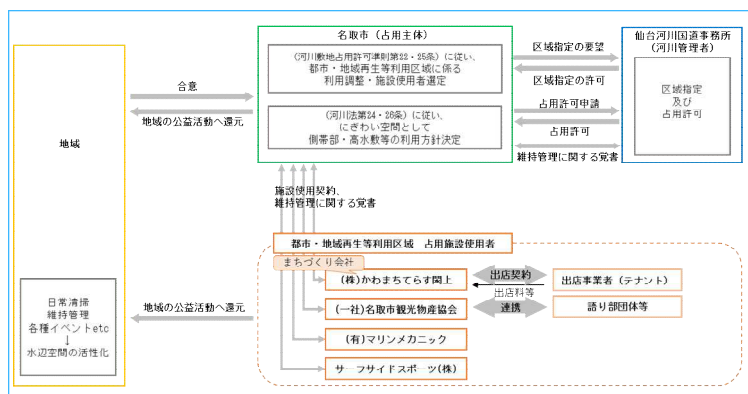
- ・閑上地区は、河川堤防と同じ高さに整備した側帯上に、被災事業者が中心となって設立したまちづくり会社が商業施設を建設・運営しており、地域の賑わいの拠点となっている。
- ・まちづくり会社が主体となり、定期的にイベントを開催するとともに、行政以外にも様々な関係主体が関わって情報を共有し、WEBやSNS等で情報を発信している。
- ・都市・地域再生等利用区域を指定し、商業施設とともに、舟運事業、河川防災ステーションや震災復興伝承事業館の整備等を実施し、官民連携で賑わい創出・防災性向上に取り組む。

評価のポイント

- ・閑上地区は、震災で甚大な被害を受けたが、かわまちづくりの取組などにより居住人口が増え、商業施設の整備・運営により主体性を持って地域を盛り上げようとしている点は高く評価できる。また、社会実験中の舟運事業が定着すれば、新たな観光事業の一つの機運になる。
- ・河川とまち・運河・港が連携し、復興事業の中で拠点整備と河川整備を上手く組み合わせさせた点は高く評価できる。また、この地区を地域の拠点として育てて行こうという発想は災害復興・継承の観点から高く評価できる。

体制

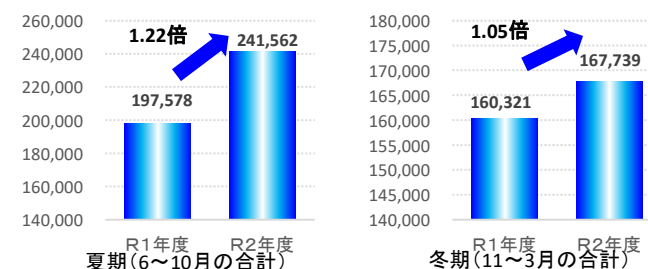
・推進主体：名取市水辺を活かしたまちづくり検討会



管理運営体制図

効果

来客数の推移(人)



「かわまちてらす閑上」の来客者数の推移

問合せ先：名取市商工観光課

TEL: 022-724-7149 E-Mail: syousui@city.natori.miyagi.jp

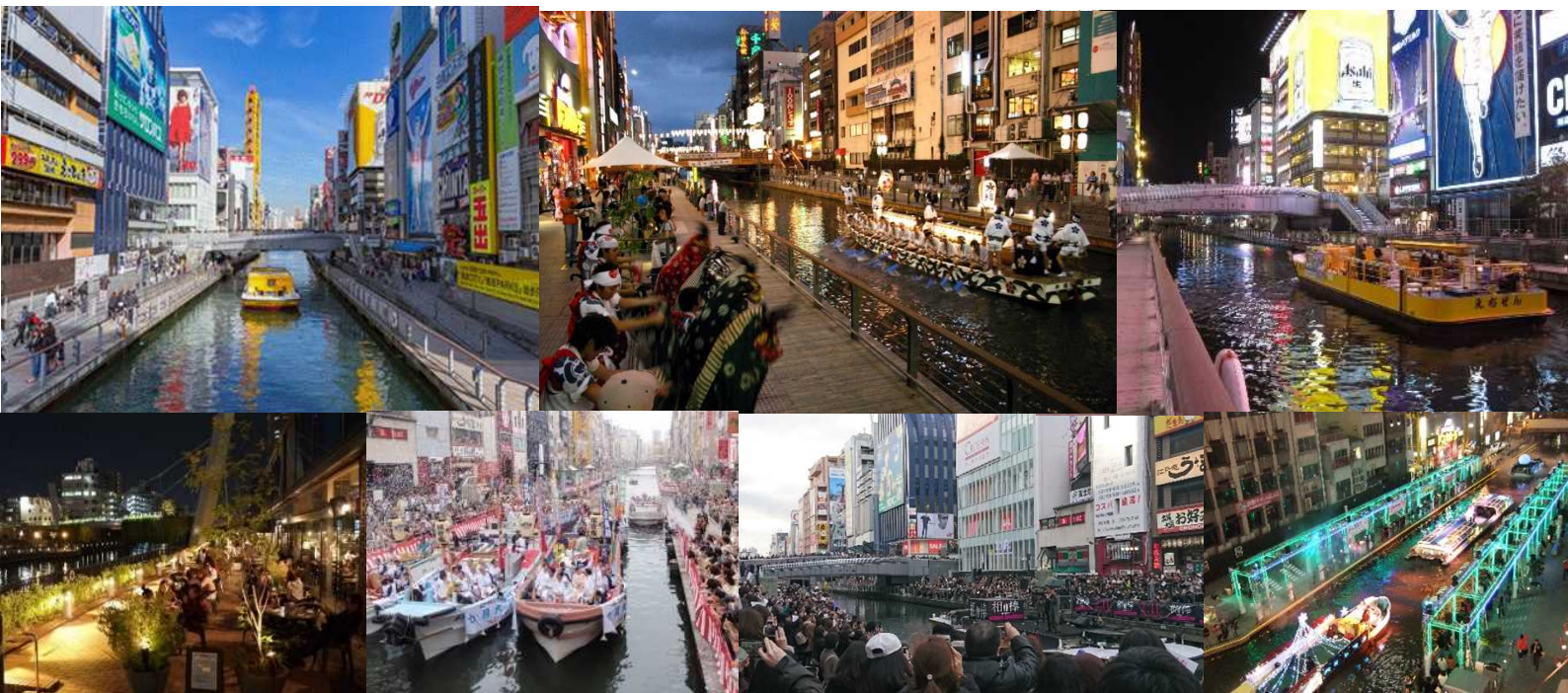


おおさかし

大阪市かわまちづくり

【題名】「水の都・大阪」における道頓堀川の水辺整備と水辺空間利活用の制度要望、公民連携の多様な賑わいづくりによる、かわとまちが一体となった魅力的な水辺空間の創出

【河川】淀川水系・道頓堀川（一級河川）



かわまちづくりの特長

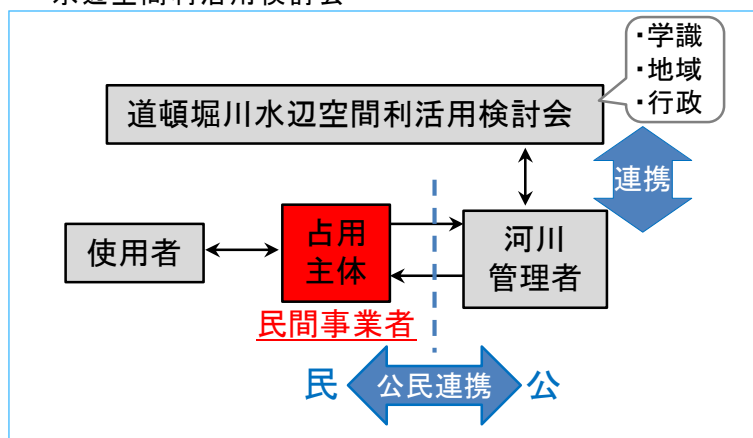
- 行政間の連携だけでなく、民間等による沿川地域の開発と連携した一体的な水辺遊歩道や橋梁、船着場等を整備することで個性的な水辺空間を創造している。
- 都市・地域再生等利用区域の指定により、公募で選定した民間事業者が包括的に占有しており、賑わい創出のために民間企業のネットワークや情報発信手法を駆使して、多様なイベント等を実施している。
- 学識・沿川地元代表者・行政からなる検討会において、地域住民や各種団体等の意見聴取を行い合意形成を図りながら、活動を行っている。

評価のポイント

- 道頓堀川は、全国に先駆けて先進的な規制緩和のスキームを使い、遊歩道を作って人の流れを変えたり、水辺空間や周辺の建築物を甦らせたり、舟運を実施してまちの中の水辺の価値向上を図ってきた。その活動実績は高く評価できる。
- 乗船している人と橋の上にいる人が互いに手を振り合うフレンドリーな光景や、川沿いのお店の雰囲気や看板・垂れ幕など、大阪らしい賑やかな雰囲気の醸成に貢献しており、高く評価できる。

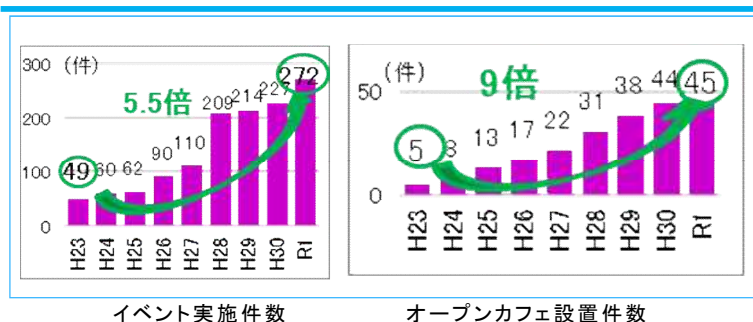
体制

- 推進主体：大阪市、南海電気鉄道株式会社、道頓堀川水辺空間利活用検討会



管理運営体制図

効果



問合せ先：大阪市建設局企画部河川課

TEL：06-6615-6839 E-Mail：la0028@city.osaka.lg.jp